

野比で伸びるには理由がある！

逆転の野比スクール

内申爆裂UP編

さて、今回は定期試験の点数が上昇した子たちを紹介しましたが、今回は内申が爆裂UPした子たちの紹介をさせていただきます。先に結論を書きますと、今回紹介する内申が爆裂UPした子は全員



日々の小テストや提出物

をやりきっていたと話してくれました。中には、点数が変わらなかっただけでなく、少し得点が下がってしまっても、内申があがった子もいました。なぜそんな現象が起きたのか…それはひとえに、今年度から評価軸が大きく変わったからです。今までは4観点での評価で決められ



ていた内申が、3観点での評価に変わりました。特に変化が顕著なのが、「主体的に取り組む態度」の部分です。個人的には、今までの「関心・意欲・態度」と大した変化はないのではないかと予測していたのですが、それが大きく崩された結果でした。もちろん定期テストの点数が大事なのは変わりませんが、今年度は例年以上に定期テスト以外の部分が重視されている気がします。テストで点数とれば5がつく時代は終わった、と思いました。つまり、日々の授業が今まで以上に重視されるようになったと思われる。ということは…

コツコツ型の人有利！

ということになります。それでは、実際に内申が上がったこの例を紹介します！



野比中学2年生 A君、内申6UP！

小5の夏から入塾し、ひたすらコツコツと勉強を続けていた子になります。今回、最多内申UP者になります。社会にいたっては、2段階上昇させ5を獲得しました！！彼曰く、ノートまとめとレポートをとにかく頑張った、技能科もふりかえりシートをきちんと記入しそこでAをとれたのが大きいのではないかとのこと。確かにテストの点数も多少はあがりましたが、それでも10点前後での上昇なので、ここまで内申が上がるにはそれ以外の日々の要因が大きく関係していると思われる。



長沢中学3年生 Bさん、内申3UP！

中1の春に入塾し、今回の内申を大台の40にのせました。本当に普段から積極的に勉強に励む子で、努力の化身です。彼女は英語・数学・音楽を1つずつあげたのですが、それぞれ戦略を立てて内申をあげていったそうです。

英語…小テストの回数が今までよりも増えたので、それが重視されると思い毎回満点をとるようにした、またミニカンパセーションが大事だといっていたので、それもきっちり予習をして対策した
 数学…話し合い活動に積極的に参加し、また振り返りプリントでは毎回満点の5点がとれるよう沢山書くなど意識した
 音楽…鑑賞プリントが重視されるので、しっかりと評価がとれるようとにかく沢山書いた。また、その際に先生が発言していた単語をできる限り盛り込むようにした。あと、先生に内申は5がいいです、といった(笑)

彼女も上記のAさんと同様、点数が大幅に上がったわけではありません。日々の努力の成果で伸びたわけです。



長沢中学3年生C君、内申3UP!

中2の冬に入塾し、今回音楽・技術家庭科と技能科中心に内申を上げた子になります。技術家庭科に関しては、点数が上がったから内申があがったというシンプルな結果ですが、音楽に関しては上記のBさんと同様、鑑賞プリントをとにかく頑張った、とのこと。不器用で中々自分が思っていることを表現できないC君ですが、しっかりと学校の先生が評価してくれました。



野比中学3年生D君、内申4UP!

中3の春から入塾し、着々と実力をつけている子になります。この子も中学生が内申を上げる要素を示す好例となります。彼は数学の内申が上がりましたが、これは純粋に得点があがったからです。今まで彼は数学で80点以上とったことがなかったのですが、野比スクールに入塾した初めてのテストで、80点台を獲得! 今回のテストでは、なんと90点台!! シンプルに実力がついたからこそ内申UPになります。一方で、技能科もあげたD君。彼曰く、担当の先生が変わり、先生と仲良くなったことで先生の話をよく聞くようになり、結果として提出物の評価もとれるようになり内申があがった、とのこと。もちろん我々大人からしたら、好き嫌い関係なく学校の先生の話は聞かなくてはいけない、と思いますが、子どもからしたら中々難しい問題ですね。先生との相性含め、しっかりと内申対策をする必要があると思われました。



長沢中学2年生E君、内申4UP!

今年の5月に入塾し、国語の内申を2も上げ5をとりました。彼曰く、日々の漢字の小テストが非常に大事で、毎回10問のテストがあり、それが類型10回、合計100点で評価されるとのこと。100点中、99以上でないとA+がつかないから頑張ったとのこと。また、毎授業の振り返りプリントをとにかく頑張ったから、内申が2段階あがったのではないか、とのこと。国語だけでなく、保健体育も内申を上げたE君ですが、先生に指示された通りに学習カードをしっかりと書いた結果、内申があがったとのこと。基本に忠実であるからこそ、内申はとれるというのが分かる例だと思えます。

コラム

今回の内申においての主体的に学習に取り組む態度でAまたはA+しかとらなかった長沢中学3年生F君に、コツを取材してみました! これだけ評価がとれている彼なので、私が思った以上に沢山のことを聞けました。是非、みんなもここに書いてあることを真似して高内申を獲得し、逆転しましょう!!

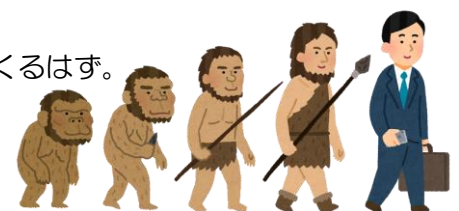
- 授業内において、任意での発表の場があれば必ず手を上げ、発表するようにする
- グループ活動以外でも、授業中に話し合いの場があれば積極的に動き声をだす
- 提出物は書けるだけ書き、空欄は必ずなくす。裏までかけるときは裏まで書く
- 先生の授業中の発言をしっかりとメモを取り、ノートまとめの際に全部まとめて書く

これができる、内申を5とする準備ができた状況だと思われます。全部は急には難しいかもしれませんが、まずは1つからでも真似してみましょう!

逆転の野比スクール!!!

いかがでしたでしょうか?やはり内申が伸びるにはそれなりの理由がありますね。彼らが伸びる環境を我々も提供し続けるよう、頑張りたいと思います。

中々全部真似をするのは大変かもしれませんが、でも、1つ変えるだけで結果は必ず変わってくるはず。必要なのは実力ではなく、変わりたいという気持ちだけ! そんな子たちを、野比スクールはスタッフ一同全力で応援致します!!



野比で伸びるよ!逆転の野比スクール!!!